

令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

令和3年5月20日

学校法人 興國学園
興國高等学校

(1) コース概略とカリキュラム（教育課程）について 平成 25 年度～

①平成 25 年度

普通科アドバンスコースのスーパーアドバンスクラスを難関国公立大学並びに医歯薬系コースとして内部で独立させ、アドバンスコースは 2 クラスでの運営となりました。

②平成 26 年度

新入生募集人数の増員（410 名から 460 名）

③平成 27 年度

普通科スタンダードコースを進学スタンダードコースに名称変更し、指定校推薦を中心とした大学進学を考慮して、基礎学力を徹底して鍛えるカリキュラムを実行しました。これに伴い、各コースも生徒たちのよりよい学習環境づくりに邁進しました。

④平成 28 年度

新入生募集人数の増員（460 名から 505 名）

スーパーアドバンスクラスと IT ビジネス科で募集人数を増員しました。

⑤平成 29 年度

・新入生募集人数の変更 計 500 名

スーパーアドバンスクラス (SAD) 40 名 / アドバンスコース (AD) 40 名

アスリートアドバンスコース (AA) 120 名 / キャリアトライコース (CT) 40 名

進学アカデミアコース (AC) 140 名 / IT ビジネス科 (IT) 120 名

・新アリーナの完成とグラウンドの整備の完了により、本校の設備更新が一段落しました。

・進学アカデミアコース開設

従来の進学スタンダードコースを廃止し、『進学アカデミアコース』を新設致しました。その概要は、学習到達度や特別活動、進路の目標設定などで 3 タイプを選択でき、1 年次より自分にあった学習スタイルや課外活動に取り組めるようになっています。

⑥平成 30 年度

・新入生募集人数の変更 計 590 名

SAD 70 名 / AD 40 名 / AA 160 名 / CT 40 名 / AC 160 名 / IT 120 名 と、募集数を大幅に増員致しました。

(2) 教育内容充実のための教育計画の推進

① 令和 2 年度は、新型コロナ緊急事態宣言発令による一斉休校の為、自宅での学習・配信授業が必要となりました。4 月初旬より、各教科で教材を準備し、教科書と同封して自宅へ郵送し、また、各教員が授動画業を作成し、生徒へ配信いたしました。生徒は郵送された教材をもとに、タブレットやス

スマートフォンにて動画授業を視聴いたしました。結果、授業再開後も、例年とほぼ変わらない進捗で学年を終えることができました。

コロナ禍において教育活動が制限される中でも、1 学期には授業見学、2 学期には研究授業を実施しました。全教員が自教科・他教科の授業を見学し、各教科会議において授業における問題点を考察し討議を重ねた上で、資料として報告書を作成・提出いたしました。さらに、1 学期末には「先生たちの通信簿」を実施し、生徒からの授業評価をうけて問題・改善点を各教員が把握し、報告書を提出することで2 学期以降の授業内容の改善に取り組みました。

また、放課後活動の充実のため、「KOKOKU 寺子屋」の講座をリニューアルし、生徒のニーズに対応した様々な講座を展開しました。令和2年度は5つの道場、計26講座を開講しました。特に、Benesseの実力テストで自身の学力ゾーンを知り、実力に合わせた大学進学に向けた講座を充実させました。具体的には、「大学入試プレミアム講座」および、国語・数学・英語の学力向上のために1年生には「大学入試スタートUP&検定対策講座」、2・3年生には「大学入試ブラッシュUP講座&模試対策」を設けました。

さらに《グローバルコミュニケーション道場》には、ネイティブ教員によるアクティブラーニングによって英語力が身に付く講座「Mr.Dan のイングリッシュ・カフェ」を開設いたしました。また、充実した設備のアリーナ、トレーニングジム、およびグラウンドをフルに活用し、《パーソナル・トレーニング道場》として、「KOKOKU 流マッスル・ファクトリー」および、「エンジョイ・フットサル」を開設し、運動部に所属していない生徒にも放課後の体力づくりに取り組める環境を整えました。

また、地域の方々と交流を深めるため、例年通り、「KOKOKU 寺子屋～カルチャー教室～」(通称“ご近所寺子屋”)を「パソコン教室」「書道教室」、そして、Mr.ミランダの「英語でクッキング」の3講座を開く予定でありましたが、感染症予防の面に照らし合わせて中止としました。

- ② 生徒の望ましい進路選択と、志望の実現を目指し次のような施策・対策を講じました。新2年生のクラス分けに伴い、年度当初の4月に「2年生保護者対象のオリエンテーション」を実施しました。全体会では、進路について進学指導部とベネッセコーポレーションより講師を招聘して、模試のデータを基にした進路講話と11月からコース毎に実施される研修旅行の概要を説明しました。引き続き、コース別ガイダンス、クラス懇談という流れで保護者の方々に今必要な心構えや今後の流れを説明し、理解を深めて頂きました。

3 学年対象に、自分の進路を発見する手立てとして「大学別ガイダンス」を主要10数大学で実施し、大学の入試部の関係者を招聘して、大学で学ぶことの基本的な知識と指導をして頂きました。

2 学年より就職希望生徒に向けて、面接試験や学科試験の対策講座である『キャリアガイダンス』を実施しています。この講座は、就職試験本番まで定期的に開講し、個別面談や対策授業・テストなどを実施して、就職内定100%達成となるように取り組んでいます。

全コースとも年間を通じて、授業終了後の補習や「夏期・冬期・春期」休暇中に集中講座を実施しました。本来であれば、例年各コースにおいて休暇中に勉強合宿を実施していますが、今年度はコロナの影響で宿泊を伴う勉強合宿を実施することができませんでしたが、校内での集中講座は充実し、大いに効果が上がりました。

- ③ スーパーアドバンスクラスの運営について、近年、理系科目を重視したカリキュラムにより、国公立大学や難関私立大学への合格者が大幅に増加し、その中でも京都大学や大阪大学、神戸大学といった難関校に複数の合格者を輩出できました。8 時間授業をベースに、その後の補習、休暇中の特別授業など綿密で重厚なカリキュラムで成績の向上を図りました。また、国公立大学をはじめとする各種

受験方式を徹底して研究し、生徒の希望進路を実現しました。特筆すべきは、今年度、京都大学の特色入試にて初の合格者を輩出しました。

その他、京都大学に特色入試を合わせて計2名、大阪大学へ3名、神戸大学へ1名、計80名の国公立大学への合格を果たしました。

④ アスリートアドバンスコース（AAコース）の取り組みについては、コロナ禍において活動が制限された中にあり、例年実施している京セラドームでの「体育大会」、広島県のしまなみ海道での「AAトライアスロン」が中止になりました。しかし、アスリートの実績は目覚ましく、今年度はサッカー一部より5名のJリーガーが誕生いたしました。（横浜F・マリノス4名、ツエーゲン金沢1名）アドバンスコースと連携した大学進学指導により、スポーツ推薦だけでなく、公募・一般入試でも国公立、上位私大に合格しました。AAコースは大変人気が高く、5クラス編成で理系、さらに文系を習熟度に分けて運営しています。また、アスリートプログラムに特化させたGroei(en)クラスを設置し、アスリートの資質を高めています。

⑤ 進学ACコース運営委員会の取り組みについて。基礎学力向上のため、英単語テストや読書などの朝の学習を全学年あげて取り組み、コース毎に到達目標の設定を考慮しつつ、自律学習と学習意欲の伸長を進めました。この取り組みは、全学年とコースで継続実施されており、進路決定への大きな力の一翼を担う取り組みとして発展させております。

当コースでは、刷新されたカリキュラムにより「リーダーシップ（責任感）」「フレンドシップ（協調性）」「パートナーシップ（社会性・モラル・マナー）」の学びを中心として、ICT教育の一環として導入された“Classi”を活用して、家庭学習の実践や学校と家庭との通信（緊急時含む）などに使用しています。また、生徒全員にipadを持たせたことにより、コロナ禍での動画配信授業も円滑に行うことができました。

⑥ キャリアトライ（公務員）コースの自衛隊体験入隊については、今年度はコロナ禍にあって実施が危ぶまれましたが、大阪地本、海上自衛隊舞鶴教育隊のご尽力により、期間を短縮して自衛隊体験入隊を実施することができました。

海上自衛隊舞鶴基地を訪問し、1泊2日の行程で基本教連や海上自衛隊第一体操、非常時に備えて、各種の体験をして参りました。また最終日には、本土防衛の要である護衛艦“みょうこう”に乗船し、艦艇を見学する事が出来ました。決して他では体験できないような様々な経験を積んで、公務員という仕事の重責を感じ取ることが出来た体験入隊でした。

⑦ ITビジネス科での進路実績は、「ITアドバンスコース」においては、上位大学への合格者を多数輩出するレベルとなっており、令和2年度卒業生では、大阪市立大学3名をはじめとして、約8割の生徒が4年制大学への進学を果たしています。これを継続発展させるため授業は週5日を7時間授業とし、長期休暇中の講習では90分間の授業により、大学受験対策だけではなく、資格取得の対策も万全にしています。一方、「ゲーム&デジタルワークスコース」でも4年制大学への進学が増加し、ITアドバンスコース同様に補習等が実施されています。また、このコースでは「情報系学部」へのニーズが高まっており、その実現のため「ゲーム制作」に関する本格的なプログラミングなどを学ばせるという目標の下、現2年生の選択授業で大阪芸術大学および清風情報工科学院専門学校との高大連携授業を実施しています。ここでは本格的なプログラミングおよびアート制作を学んでおり、その成果に期待を寄せています。また、今年度はコロナ禍により実施できませんでしたが、例年両コースとも

に夏期と冬期に勉強合宿を行い学力の向上を図っております。

(3) 生徒指導の充実と、多様な対応

- ①今年度はコロナの影響で、実施することができませんでしたが、昨年度より Say Hello Project という挨拶運動を、毎朝生徒通用門前に教職員に加えて、生徒会、クラブ代表生徒、クラス代表生徒たちが参加し、登校する生徒たちへ気持ちの良い挨拶が出来る取り組みを行っています。
- ②携帯電話の校内使用全面禁止を継続し、マナーを遵守させる指導を徹底しました。
- ③遅刻した生徒には、放課後に学習課題を取り組ませ、遅刻を繰り返さないよう指導を行いました。
- ④モラルやマナー育成の為、教職員と各クラスから選出した生徒と協力して、周辺地域の清掃活動「クリーン大作戦」は毎年恒例であります。今年度はコロナの影響もあり、校内での大掃除に限定されました。
- ⑤インターンシップの取組みについて。

例年、夏季休暇中に3年生就職希望者対象のインターンシップが今年度はコロナ対策の為、実施いたしませんでした。

しかし、3月には昨年同様アートコーポレーション様にご協力を賜り、有償インターンシップを実施することができました。その為、希望生徒対象にアート様より、プロとしての心構えと作業の基本的な指導を講義と実践により、事前にレクチャーしていただいております。これらの取組みにより、就職活動を本格化させる2学年の生徒達の就労意欲を高めることができました。

⑥人権カウンセリングより

不登校や集団生活に馴染みにくいなどの悩みを持つ生徒に対して、別室（カウンセリングルーム）にスクールコンシェルジュ（校長経験者）を複数名配置し、休暇中における集中指導などの対象生徒の個別指導だけでなく、保護者が相談できる組織を校内に設置しています。また、学校外においても、ものづくり体験や協働学習を通して、進級・卒業への契機となるプロジェクトを準備しています。

(4) 授業改善への取組み

- ①授業改善のため、全教科担当者に対する生徒からのアンケート（「先生たちの通信簿」）を1学期末に実施し、自己点検すると同時に、教科としての改善すべき取り組みを明確にしました。
- ②授業の質を高めるために、習熟度別授業やチーム・ティーチング（複数担任授業）を充実させました。
（例）国語・数学・英語・簿記会計・体育の武道（柔道・剣道）・情報・書道 等
- ③2学期に研究授業を実施し、各教科における授業のあり方を追求したほか、1学期には公開授業週間を設け、教員のレポートを通して反省点や改善点を明確にしました（教科内・教科外の授業も見学・検討することとしました）。
- ④充実した授業を展開するために、全教員で授業中の校内巡回を分担し、年間を通して実施しました。
- ⑤各教科で現在のカリキュラムやシラバスを検討して問題点や改善点を抽出し、よりよい授業、分かりやすい授業が展開できるように発表・検討を行う教科指導研修会を実施しました。

(5) 国際理解教育の推進

①夏期休暇期間中の短期海外研修について（7月実施）

本校では、毎年7月にイギリス・カナダ2カ国への研修を展開していますが、今年度はコロナ禍に

より、中止となりましたが、大阪教育大学の留学生との国際交流会や授業・寺子屋等でフィリピンとのオンラインスピーキング「weblio（ウェブリオ）」を利用し、語学力とともに国際感覚の向上につとめました。

②例年実施している海外研修旅行もコロナの影響で行先・時期の変更を余儀なくされました。結果、3月に沖縄への力を無事に成功させることができました。

(6) 施設面の充実

①新西館改築工事（平成27年12月竣工済 翌年1月供用開始）

②北館（体育館）解体工事に着手・完了（平成28年3月より）

③クラブ棟（東側）解体工事（平成29年1～2月）

④新アリーナ（体育館）竣工（平成29年6月）

⑤南館1階改装工事に着手（平成29年12月）

＊サイエンス・ラボ（理科実験室）
＊クッキングスタジオ（調理実習室）
＊特別教室

} 以上の3教室を新設いたしました。

☆新アリーナの完成とグラウンドの整備工事が完工し、各種行事を催行しました。

1. 平成29年6月 1日 グラウンド修祓式（本校グラウンド）
2. " 6月 7日 90周年記念式典・アリーナ竣工式（本校アリーナ）
3. " 6月22日 台湾東海大学講演会（陳 中漢教授）メモリアル
4. " 6月24日 アリーナ落成記念「バレーボール落成記念試合」
（Vリーグ：堺ブレイザーズ VS パナソニックパンサーズ）
5. " 6月26日 「天遊」大阪市小学校連合会主催講演会（講演者：草島葉子校長）
6. " 7月15日 90周年記念講演会『得意に帆を揚げて』（講演者：数学者 秋山 仁氏）
7. " 8月 6日 高体連サッカー大阪大会“開会式”（参加251校 男女共約1500名）
8. " 8月28日 中体連サッカー総会・抽選会（中学校顧問 約450名出席）
9. " 9月 9日 大阪エヴェッサドリームクリニック
10. " 10月14日 柔道実技講習会（新柔道場柿落とし）
11. " 10月23日 AA コーストップアスリート講話（ラグビー元日本代表 野澤武史氏）
12. " 10月28日 大阪南ロータリークラブ主催「福祉チャリティーコンサート」
13. " 11月26日 天王寺バレーボール連盟主催「秋季大会」（9人制18チーム）
14. " 12月 1日 天王寺区役所主催「区内3中学校合同サッカー講習会」
（セレッソ大阪コーチによる実技指導）
15. " 12月17日 天王寺区吹奏楽フェスタ（区内の中学校・高校の吹奏楽部が出演）
16. 平成30年 2月28日 進路ガイダンス（2年）〔講師：近畿大学入試広報課長 屋木清孝氏〕
- 17・令和 元年 5月 8日 「令和の集い」（改元に伴い、平成の時代を振り返り、令和の時代に向けての決意を新たにしました）
18. " 5月20日 「NASA 特別講演会実施」（講演者：ジョン・A・マクブライド氏、対象：第1学年全生徒（766人）・第2、3学年 SAD、AD、AAA、ITA（364人）・天王寺中学校生徒（約150人））

19. // 11月15日 「第66回近畿算数・数学教育研究大阪大会（全大会）」

※その他、学校説明会、始業式・終業式並びに卒業式等の式典で、アリーナを活用しております。

(7) 入学生徒数の安定的確保の取組み

令和3年度の志願者数1222名、入学者数719名の、定員（590名）を大幅に上回る入学者を受け入れました。また、下記のような渉外企画部に関わる活動を繰り広げました。

- ①全職員で大阪府下を中心に、約500校の中学校を夏期休暇中に訪問し、本校の独自の取組みと、入試における特徴的な要項の周知に努めました。
- ②8月に中学校の教員対象の学校説明会を開催し、各コースの内容とその学びの特色やカリキュラムを中心により一層の理解を深める工夫を凝らしました。また、魅力あるクラブ活動を紹介するため、成果を生み出しているクラブ指導者と活躍するクラブ生を紹介し、生徒の獲得のための方策を打ち出しております。
- ③9月に学習塾対象の学校説明会を開催しました。併せて個別に塾訪問するための専属の担当者を配置し、地域別にきめ細やかな訪問が出来るように取組みました。
- ④中学生と保護者対象の学校説明会及び個別相談会、オープンスクールを計8回開催し、クラブ体験の機会ももちながら、専願者の確保に努めました。

夏季休暇中の KOKOKU 夏祭、11月に KOKOKU 体験フェスティバルを実施し、本校の生徒たちとの関わりの中で、本校の魅力を伝えてまいりました。これに加えて保護者や中学生からの進路相談に応える場として、「個別面談会」を計3回実施しました。

- ⑤「出前講座」と銘打って、本校の教員とサポート生徒が中学校へ出向き、パソコン・公務員講座・スポーツ関連等の体験授業を、中学校の「総合的な学習」の時間等を利用し、進路保障の一環として繰り広げました。また、本校に中学生が来校して、高校生活を実体験する高校体験留学も定着しております。以上の活動により、本校の教育設備や内容の充実度が実体験することによって、受験者数や入学生の確保に貢献しています。
- ⑥その他、渉外関連のアイテム（学校案内パンフレット・学園だより・学校紹介ビデオ等）にも工夫を凝らして、さらに充実させ、生徒や保護者が共感できるように努めました。

(8) クラブ活動・生徒会活動の活性化

- ① 2020年度は、コロナの影響で全国大会をはじめとする多くの公式戦が中止となりましたが、本校生徒は目標を見失うことなく直向きに練習に励みました。軟式野球部は、49年ぶりに選手権大会大阪府予選にて優勝いたしました。残念ながら、全国大会（明石）は行われませんでした。実力を十分に知らしめた結果となりました。全国大会に多くの運動クラブ（ボクシング・陸上・空手道・ゴルフ・硬式テニス・ソフトボールの各部）が出場権を獲得しました。多くのクラブも選手強化のために学校が全面的にバックアップをしており、今後も大いに活躍が期待される所です。また海外からスポーツ留学生制度を設定し、選手獲得もグローバル化しております。現在、台湾（硬式野球）、ケニア（陸上）、フィジー・ニュージーランド（ラグビー）、ハイチ（硬式テニス）からの留学生が日本語や文化を学びながらトップアスリートとして練習に励んでいます。

また、堺ブレイザーズと連携も継続し、2020年度からはバレーボール部の顧問として、指導者の派遣をいただいております。現在は1部リーグに属しており、春高バレー大阪府大会ベスト16に進出するなど着実に実力をつけています。

(9) 進路保障の多様性とその充実

①各コースの特徴を生かした進路保障を、各分野で昨年度の実績を上回る形で下記の通り果たしました。
(%は、全卒業者数比率)

項目	令和2年度	令和元年度	平成30年度
四年制大学	409名 (63.2%)	493名 (58.9%)	377名 (57.2%)
短期大学	5名 (0.8%)	12名 (1.4%)	10名 (1.5%)
専門学校	86名 (13.3%)	132名 (15.8%)	88名 (13.4%)
就 職	91名 (14.1%)	142名 (17.0%)	133名 (20.2%)
浪人未定・その他	44名 (6.8%)	58名 (6.9%)	51名 (7.7%)

※浪人未定の44名の大半が、志望大学への進学希望のため。

・【各分野における進路先の具体例】(令和2年度卒業生)

* 四年制大学

国公立大学 (京都大学・大阪大学・神戸大学・防衛医科大学校・防衛大学校・大阪教育大学
・大阪府立大学・大阪市立大学・滋賀大学・和歌山大学・秋田大学・奈良教育大学
・宮崎大学・鹿屋体育大学・広島大学・滋賀県立大学・兵庫県立大学・岡山大学等
他多数合格)

私立大学 (慶應義塾大学・関西医科大学・大阪医科薬科大学・同志社大学・立命館大学
・関西学院大学・関西大学・神戸薬科大学・明治大学・中央大学・法政大学
・近畿大学・龍谷大学・京都産業大学・甲南大学・日本大学・東洋大学・駒澤大学
・関西外国語大学、摂南大学・桃山学院大学・追手門学院大学・大阪経済大学
・大阪工業大学・大阪商業大学・、他多数合格)

* 短期大学 (関西外国語大学短期大学部・近畿大学短期大学部・大阪芸術大学短期大学部・他)

* 専門学校 (大阪法律・大阪あべの辻調理師・国際東洋医療柔整学院・大原簿記法律・修成建設
・アミューズメントメディア総合学院 他)

* 就 職 (東海旅客鉄道・西日本旅客鉄道・阪神電気鉄道・アートコーポレーション・日本郵便
トヨタカローラ南海・山文商事・吉川運輸・浪花組 他)

* 公 務 員 [国家公務員]: 国家一般職・皇宮護衛官・大阪税関・京都地方検察庁
[地方公務員]: 大阪府警察行政・警視庁・大阪府警・兵庫県警・京都府警・奈良県警
香川県警・高知県警・東京消防庁・八尾市消防本部・泉州南消防組合
[特別職国家公務員]: 陸上自衛隊一般曹候補生・陸上自衛隊自衛官候補生
海上自衛隊一般曹候補生・海上自衛隊自衛官候補生
航空自衛隊自衛官候補生・

②本年度AAコースから、プロサッカー選手 5名を輩出いたしました。

横浜Fマリノスに4名、ツウェーゲン金沢に1名の計5名の卒業生がプロ選手として活動します。12月22日にはアリーナにて大々的に入団内定記者会見を行いました。今後のJリーグでの活躍を大いに期待してされます。

(10) 学校評価について

毎年、全職員から提出された自己評価、並びに次年度の目標設定を記載したシートを基に管理職との個別面談を全員に実行しています。この面談を通じて、職務に対する姿勢や方向性を互いに認識し合い、資質向上と学校運営の発展に努めています。下記の表は、今年度提出された個々のシートを整理・集約したものです。

<令和2年度 資質向上自己申告票のまとめ>

[単位：人]

No.	項目	評価S	評価A	評価B	評価C	評価D	その他	小計
①	校務分掌	2	8	50	28	2	0	90
②	担任業務	3	19	25	17	3	0	90
	副担任業務	0	5	8	3	1	6	
③	教科指導	2	23	40	18	2	5	90
④	クラブ活動	6	12	25	31	12	8	90
小計		13	67	148	97	20	15	360
評価分布状況 (%)		3.6	18.6	41.0	27.0	5.6	4.2	100%
(最上段/R2年度数値)		3.8	16.6	40.8	29.6	5.4	3.8	
(上段/R1年度数値)		4.1	14.0	31.6	40.1	6.9	3.3	
(中段/H30年度数値)		2.0	13.9	38.6	36.1	6.0	3.4	
(下段/H29年度数値)								

《表の見方》

(イ) 項目の①～④は本校の業務分類です。

(ロ) 評価S～Dは、次のように5段階評価で分類します。

- ・評価S：大幅に目標を上回っている。
- ・評価A：少し目標を上回っている。
- ・評価B：目標通り。
- ・評価C：少し目標を下回っている。
- ・評価D：大幅に目標を下回っている。
- ・その他：校務分掌等で該当の業務分担がない教員の人数

(ハ) 調査対象者は、専任教諭 63名、常勤講師 27名 の計 90名です。

(二) 今後の改善点

①教職員の資質向上に向けて

- ・教科間ないし教科外の教員が互いに授業見学を取り入れ、授業の質向上に役立てています。
- ・新しい取組みのための学習や資格取得等の講習へ積極的に参加しております。
- ・教育の実践に活かせることが出来る専門分野の方の講演会を定期的実施しています。

- ・この他、新任教員の研修にも努めています。

②生徒指導・学習指導・進路指導について

- ・通学路や交通機関利用時、並びに自転車通学を含めての登下校時のマナーを徹底。
- ・クラブ活動や興國寺子屋への参加率向上を目指します。
- ・高大連携を費用面だけに留めるのではなく、高大相互に授業の連携を図り、大学進学時に単位認定を考慮する取組みを進めていきます。
- ・大学入試や社会の要請に応える力をさらに育成するため、漢検・英検受検の充実を図ります。
- ・全コース、学習能力向上の為に勉強合宿実施を進めていきます。

(11) そ の 他

①キャリアトライ（幼児保育初等中等教育）コースでは例年、四天王寺夕陽丘保育園のご好意により行事日程に合わせて実習の機会を提供頂いていましたが、今年度はコロナの為、保育現場での実習は行えませんでした。

②文化祭は、例年、保護者や近隣住民も大勢参加され、クラス展示や模擬店、アリーナでの催しなどが実施されますが、今年度はコロナ対策として縮小を余儀なくされました。しかし、生徒会指導部を中心として工夫を凝らしたイベントが実施されました。なかでも「光の祭典」をテーマに寺田町公園側から本館・西館校舎の壁面に向けて大規模なプロジェクションマッピングを3日連続で実施しました。このイベントは、コロナ終息を願うメッセージと医療従事者へのエール、稚児近隣への還元を目標としました。実施にあたり、「やまだあられ」様を筆頭に38社のスポンサーにご協力いただきました。また、「やまだあられ」様のビルにプロジェクターを設置させていただき、校舎へ投影させていただきました。

③恒例の「クラブ年初始動式」を生徒会指導部主催で1月に実施しました。クラブの活躍と発展を祈念して、全運動クラブ部員とPTA役員、教職員が久保神社に参拝後、アリーナにて各クラブの代表者から力強い決意表明を発表しました。例年、餅つきを実施していますが、今年度はレトルトのぜんざいと、お年賀としてタオルを配布しました。

④今年度も2月にCT（保育幼児初等中等教育）コースの2・3年生は、授業の一環として取り組んでいる「ピアノ」演習の成果として「ピアノ発表会」を行いました。この他、ハンドベルの演奏や合唱など、来場された聴衆の方々に楽しんで頂きました。

⑤生徒の健康や安全教育の一環として、1年生の4月以降、体育の授業において救急救命講習を開き、心肺蘇生法（CPR）やAEDの使用方法について、技術の習得を図るとともに、緊急時の対応ができる教育を実施しております。

また、アスリートアドバンスコースでは、2・3年生全員に春と秋の2回救急救命講習を受講させて、命の尊さを体現させています。

⑥高大連携について

コロナ禍の中にあって、各大学に生徒が定期的に通学し、講義を受けるということは困難となりました。大阪商業大学、大阪電気通信大学とは高大連携講座で単位を認めていただいておりますが、今年度はコロナ禍の為、実施できませんでした。また、関西大学と桃山学院教育大学からは例年学生インターンシップ生を受け入れておりましたが、今年度は見合わせる事となりました。

状況が許せば、例年の通り、各大学との連携を深めてまいります。

今後の進路指導として、国公立大学も含めた各大学との高大連携を進展させます。大阪商業大学をはじめ、多数の大学と連携を図ることで、単位認定や医療系、理工系の大学とも交流を深めるとともに、大学からの出前講義やガイダンスを通じて、自分の進むべき進路を一人ひとりがしっかりと考え、その目標を達成できる道筋をつけることを目標とします。そして、将来は様々な分野で我が国を支え、牽引できる人材の育成に努めて参りたいと考えます。